

# 第1学年 道徳科学習指導案

令和3年 9月25日(土) 2校時

第1学年 1組遠藤竜司 2組金津春菜子 3組五十嵐和加 4組木次谷悠作

- 1 主題名【 あいてに しんせつに 】B(6) 親切、思いやり
- 2 教材名 「はしの 上の おおかみ」
- 3 ねらい 相手のことを思いやり、優しく接しようとする実践意欲と態度を育てる。

## 4 展開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導入	<p>1 学習課題を設定する。 ○みんなは、つい、意地悪をしてしまったことは、ありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を想像させることで、普段の自分の行動を振り返らせ、教材中のおおかみの気持ちを共感的に考えていけるようにする。</li> <li>・「誰かに親切にするとどんな気持ちになるでしょう。」と投げかけて、課題意識を持たせる。</li> </ul>
展開	<p>2 「はしの上のおおかみ」を読む。 ○うさぎに通せんぼうをして「えへん、えへん。」と言ったとき、おおかみはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・おれのほうがえらいぞ。 ・みんながゆうことをきいて、おもしろいなあ。</p> <p>◎おおかみは、くまの後ろ姿をどんな気持ちで見ているのでしょうか。 ・くまさんは大きくて力持ちなのに、とっても優しいな。 ・じぶんがしたことがはずかしいな。 ・くまさんみたいになりたいな。</p> <p>○はじめと終わりの「えへん、へん。」の違いを考えましょう。 ・はじめは威張って言っていた。 ・終わりは、いいことをしてよかったという気持ち。</p> <p>○このあと、おおかみは、どんなふうにかわったと思いますか。 ・いじわるをしなくなっと思う。 ・親切にした方がいい気持ちになると考えた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の挿絵を提示し、内容を理解させる。</li> <li>・自分より小さい動物や弱い動物に対して威張って、優越感を感じている狼の気持ちに気付かせる。</li> <li>・いつまでも見ていたことを押さえる。そして、くまの優しさへの感動や反省、くまへの憧れなど、多様な考えを出させる。</li> <li>・友達の考えでいいなと思ったところは付け足しをする。</li> <li>・同じ言葉でも、気持ちが違うことに気付かせる。また、最後には優しくしていい気持ちになった狼の心の変化を捉えさせる。</li> <li>・親切にすることのよさを実感したおおかみの変容を基に、今後のおおかみの行動について考えさせる。</li> </ul>
終末	<p>4 教師の説話を聞き、本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の親切な行為を賞賛し、温かい雰囲気の中で終末を迎える。</li> </ul>

## 5 評価

- ・おおかみのくまに対する気持ちを、多面的・多角的に考えることができたか。
- ・相手に思いやりをもって接していこうとする気持ちが高まったか。